

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
15105001	斬新な特定位置占拠型配位子の設計と高配位典型元素化合物の創製	川島 隆幸（東京大学・大学院理学系研究科・教授）	A
<p>リン、硫黄等高周期典型元素に対し、立体的、電子的なバランスを考慮した新規多座配位子を設計・開発し、新しい構造・結合様式をもつ高周期典型元素化合物の創出に成功している。当初の研究目的はほぼ達成され、関連分野へのインパクトを与えうると評価できる。特に、トリアリールメチル型4座配位子をもつ新規超原子価リン化合物を合成し、4中心6電子結合という新たな結合様式に起因する特異な性質を示すことを発見したことは高く評価できる。また、高効率の蛍光発光を実現したアゾベンゼン化合物や高い電子供与能をもつアミドイリドカルベンの開発は、当初予想されていなかった有用な成果である。学术论文の大半が一流紙に掲載されている。</p> <p>これら個別の研究成果はいずれも優れたものであるが、ケイ素やゲルマニウムを含む典型元素化合物に関する、より一般的なコンセプトや研究分野を生み出すには到っていないので、今後の展開に期待する。</p>			